

最後の第8章は気象現象を人間との関わりにおいて捉え、生徒に理解させる手だての例が示されており、環境教育の充実の一翼を担わねばならない理科の教員として大いに興味のある内容でした。」

司会：気象現象を教材として取り上げようとするとき、無理に探究学習の手法によるのではなく、まずモデルを提示しそのモデルの理解を助けるという意味での観察、観測、室内実験を考えるとということにすれば、この本からも多くの示唆が得られるということですよ。

ね、有難うございました。

[注] なお、本文中のM博士は香川大学教育学部の森征洋教授、S教諭は岡山県灘崎中学校教諭であり、岡山大学大学院教育学研究科に在籍中の佐藤秀則氏である。両氏にこの本を通読して貰い、本文の筆者の質問に回答して貰ってその内容を編集したもので、文責はあくまで筆者である。

(岡山大学教育学部 佐橋 謙)

トヨタ財団1995年度研究助成公募

基本テーマ

「多元価値社会の構造」

- 1 多様な文化の相互理解と共存
- 2 新しい社会システムの提案
- 3 これからの地球環境と人間生存の可能性
- 4 市民社会時代の科学・技術

1) 助成の概要

下記のとおり。

研究種目	研究助成A (個人研究対象)	研究助成B (共同研究対象)
研究の性格	若手研究者による自由で 独創的な個人研究	共同研究。特に国際共同 研究を重視
1件の助成	概ね100～200万円/件	概ね400～500万円/件、 2,000万円/2年間を上限
助成予定額	約4,000万円	約1億4,000万円
助成期間	1995.11.1から 1年間	1995.11.1から 1年間または2年間

2) 応募期間

本年4月1日から5月31日(当日消印有効)

3) 申請用紙の申し込み

申請書は送料分の切手(1部270円、2～3部390円)を同封の上5月17日までに研究助成係宛にお申し込み下さい。

4) 申請用紙の申し込み先

〒163-04 東京都新宿区西新宿2丁目1番1号
新宿三井ビル37階私書箱236号
財団法人 トヨタ財団 研究助成係
TEL 03-3344-1701
FAX 03-3342-6911